

資料 4

# 現行計画の 評価と課題について

令和5年7月27日  
保健福祉部 高齢福祉課

# 1 評価の方法について

## 〔基本的な考え方〕

計画の評価にあたっては、「主要事業」や「自立支援・重度化防止に資する事業」について評価を実施するとともに、各基本目標や計画全体について課題の抽出を行う。

## 〔評価基準〕

### ① 施策・事業の各指標，計画全体の成果指標

| 評価 | 評価基準                                                                                                             |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A  | <ul style="list-style-type: none"><li>各年度の評価：指標の達成率が90%以上</li><li>総合評価：各年度の評価において、すべてA（※）</li></ul>              |
| B  | <ul style="list-style-type: none"><li>各年度の評価：指標の達成率が70%以上90%未満</li><li>総合評価：各年度の評価において、Bが1つ以上かつCがない（※）</li></ul> |
| C  | <ul style="list-style-type: none"><li>各年度の評価：指標の達成率が70%未満</li><li>総合評価：各年度の評価において、Cが1つ以上（※）</li></ul>            |

※ 累積の目標値を設定しているものは後年度の評価を総合評価とする。

※ コロナの影響を大きく受けた事業は，評価結果を四角囲みで標記する。

⇒ 現行計画策定時はコロナ禍であったものの，影響の度合いを予測することが困難であったため，コロナの影響を受けない最良値として目標値を設定した。

## 〔評価基準〕

### ② 基本目標

| 評価      | 評価基準                                            |
|---------|-------------------------------------------------|
| 順 調     | 施策・事業の評価において<br>A と B の合計が全体の 9 0 % 以上          |
| おおむね順調  | 施策・事業の評価において<br>A と B の合計が全体の 7 0 % 以上 9 0 % 未満 |
| やや遅れている | 施策・事業の評価において<br>A と B の合計が全体の 7 0 % 未満          |

## 2 基本目標ごとの評価と課題

### 基本目標 1 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

#### ① 各指標の評価

| 評価             | A      | B      | C     | 合計      |
|----------------|--------|--------|-------|---------|
| 全体             | 16 (1) | 13 (7) | 8 (8) | 37 (16) |
| 主要事業           | 2 (-)  | 3 (3)  | - (-) | 5 (3)   |
| 自立支援・<br>重度化防止 | 0 (0)  | 5 (2)  | 2 (1) | 7 (3)   |

※ 括弧内は、コロナの影響を大きく受けた施策・事業（内数）

⇒ 感染リスクの高い高齢者の外出控えにより、他者との交流を伴う事業参加の機会が減少したことから、基本目標 1 を通じて大きな影響を受ける結果となった。

※ 詳細は、別紙のとおり

### 基本目標 1 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

#### ② 基本目標全体の総括

##### 〔主要事業に関するもの〕

- 健康ポイント事業や高齢者等地域支援活動ポイント事業などのポイント制度については、事業の周知や事業内容の充実などに取り組んだ結果、参加者を伸ばすことができた。
- 地域における介護予防の自主グループやシルバー人材センター事業の支援については、感染リスクが高い高齢者が外出を控えたことなどから、目標達成には至らなかったものの、市ホームページやSNSを活用した周知啓発を行い、参加者の確保に繋げることができた。
- 外出支援事業については、コロナの影響などにより目標達成に至らなかったものの、ICカードの導入や地域内交通の整備などに取り組み、利便性の向上を図ることができた。

### 基本目標 1 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

#### ② 基本目標全体の総括

##### 〔自立支援・重度化防止に資する事業に関するもの〕

介護予防の推進に関する事業を計上しており、コロナの影響が継続し、一部の介護予防教室は未実施となったが、オンライン体操教室の開催により新規利用者の参加促進を図るなど、高齢者の主体的な介護予防の促進に取り組んだ。

### 基本目標 1 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

#### ③ 評価を踏まえた課題

コロナの影響により、感染リスクの高い高齢者においては、参集による介護予防活動などが制限される中であったが、事業内容を工夫することで活動の継続を図ってきた。また、オンラインによる周知や活動支援についても、参加者の確保に一定の成果が見られた。

「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」に向け、アフターコロナにおいて、高齢者が積極的に健康づくりや介護予防に取り組むことができるよう、地域の通いの場を拡充していくとともに、デジタルを活用した更なる社会参加の促進を図る必要がある。

## 2 基本目標ごとの評価と課題

### 基本目標 2 「地域で支え合う社会の実現」

#### ① 各指標の評価

| 評価             | A      | B     | C     | 合計     |
|----------------|--------|-------|-------|--------|
| 全体             | 16 (3) | 6 (2) | 3 (3) | 25 (8) |
| 主要事業           | 3 (1)  | 1 (1) | - (-) | 4 (2)  |
| 自立支援・<br>重度化防止 | 1 (-)  | 2 (1) | - (-) | 3 (1)  |

※ 括弧内は，コロナの影響を大きく受けた施策・事業（内数）

⇒ 地域における会議などが開催できず，文書等で連絡し合う場面が目立つなど，基本目標 2 を通じてコロナの影響をやや大きく受ける結果となった。

※ 主要事業と自立支援・重度化防止に資する事業は，一部重複

※ 詳細は，別紙のとおり

### 基本目標 2 「地域で支え合う社会の実現」

#### ② 基本目標全体の総括

##### 〔主要事業に関するもの〕

- ・ 地域包括支援センターにおいては、着実に、地域ケア会議の開催や見守りが必要なひとり暮らし高齢者の把握に取り組んでおり、地域の中核的な相談機関の役割を果たしている。
- ・ 生活支援体制整備事業においては、地域包括支援センター等と連携を図りながら、地域の実情に応じた情報提供や勉強会の開催に取り組み、39地区中34地区で第2層協議体を設置できた。

### 基本目標2「地域で支え合う社会の実現」

#### ② 基本目標全体の総括

〔自立支援・重度化防止に資する事業に関するもの〕

地域での「支え合い」体制の推進に関する事業を計上しており、地域の実情に応じた第2層協議体への支援に加え、介護予防・生活支援サービス従事者養成研修を通じた着実な人材育成や事業者とのマッチングに取り組み、概ね目標を達成している。

### 基本目標 2 「地域で支え合う社会の実現」

#### ③ 評価を踏まえた課題

地域包括支援センターを中心として、高齢者の身近な課題に対応してきたところであり、今後は高齢者の更なる増加に対応するだけでなく、地域共生社会の実現に向け、分野・世代を超えた課題を解決できるよう、地域支え合い活動を一層充実していくことが求められている。

「地域で支え合う社会の実現」に向け、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者などの支援を必要とする高齢者の更なる増加や、高齢者を取り巻く複雑化・複合化した課題に対応できるよう、地域包括支援センターの機能の充実・強化を図りながら、地域が主体となった更なる地域ケア力の向上を図る必要がある。

## 2 基本目標ごとの評価と課題

### 基本目標3「介護サービスが創る笑顔あふれる社会の実現」

#### ① 各指標の評価

| 評価             | A      | B     | C     | 合計     |
|----------------|--------|-------|-------|--------|
| 全体             | 27 (-) | 5 (1) | 1 (1) | 33 (2) |
| 主要事業           | - (-)  | 2 (-) | 2 (2) | 4 (2)  |
| 自立支援・<br>重度化防止 | 7 (-)  | 2 (-) | 3 (1) | 12 (1) |

※ 括弧内は、コロナの影響を大きく受けた施策・事業（内数）

⇒ 一部の研修会では開催を見送ったものの、Web会議に切り替えて予定どおり実施できたものが多く、基本目標3を通じてコロナの影響は少ない結果となった。

※ 主要事業と自立支援・重度化防止に資する事業は、一部重複

※ 詳細は、別紙のとおり

### 基本目標3 「介護サービスが創る笑顔あふれる社会の実現」

#### ② 基本目標全体の総括

##### 〔主要事業に関するもの〕

- ・ 介護従事者の資質向上については、感染症対策を講じながら、利用者の自立支援に繋がるケアプラン作成研修や知識向上に資する研修を介護支援専門員に対して実施するなど、介護従事者のスキルアップに取り組んだ。
- ・ 地域住民への普及啓発に向けた在宅療養に関する講座や家族介護教室については、一部の講座でWEB形式の開催を取り入れるなど、着実な事業実施に取り組み参加者の確保に繋げることができた。

### 基本目標3 「介護サービスが創る笑顔あふれる社会の実現」

#### ② 基本目標全体の総括

##### 〔自立支援・重度化防止に資する事業に関するもの〕

- 「第5期宇都宮市介護給付適正化計画」（令和3～5年度）に掲げるものや、「在宅医療・介護連携」の体制づくりに関する事業を計上しており、前者については、主要事業に位置付けた取組のほか、計画に基づく介護認定調査の内容や住宅改修・福祉用具に係る利用状況の点検などを実施し、おおむね順調に介護給付の適正化に取り組むことができた。
- 後者については、市医療・介護連携支援ステーションで開催する「ブロック連携会議」において、三士会（県弁護士会、県司法書士会、県社会福祉士会）の参画による医療・介護従事者と司法・福祉関係者との顔の見える関係構築や、多機関による複雑化・複合化した支援ニーズへの対応の検討など、地域共生社会の実現に向けて関係者間の連携を強化することができた。

## 2 基本目標ごとの評価と課題

### 基本目標3 「介護サービスが創る笑顔あふれる社会の実現」

#### ③ 評価を踏まえた課題

コロナ禍においても、自立支援・重度化防止に向けて介護給付の適正化や在宅医療・介護連携に取り組んできたところであり、介護従事者や家族介護者に向けた支援においても、参加者の高い満足度を得られていることから、介護サービス利用者の在宅生活の維持に寄与することができた。

「介護サービスが創る笑顔あふれる社会の実現」に向け、介護が必要になった場合にも安心して在宅生活を送れるよう、介護サービス利用者の自立支援・重度化防止に向けたさらなる介護従事者の資質向上や介護給付の適正化に取り組むとともに、在宅での生活を支える家族介護者の理解促進を図る必要がある。

## 2 基本目標ごとの評価と課題

### 基本目標 4 「いつまでも自分らしさを持ち，自立した生活の実現」

#### ① 各指標の評価

| 評価             | A      | B     | C     | 合計     |
|----------------|--------|-------|-------|--------|
| 全体             | 20 (1) | 5 (0) | 6 (3) | 31 (4) |
| 主要事業           | 3 (1)  | - (-) | 1 (-) | 4 (1)  |
| 自立支援・<br>重度化防止 | 1 (-)  | 1 (-) | 2 (-) | 4 (-)  |

※ 括弧内は，コロナの影響を大きく受けた施策・事業（内数）

⇒ 認知症に関する講座などが開催回数を減らしたが，オンラインを活用してコロナの影響を最小限に抑えるなど，基本目標 4 を通じてコロナの影響は少ない結果となった。

※ 主要事業と自立支援・重度化防止に資する事業は，一部重複

※ 詳細は，別紙のとおり

### 基本目標 4 「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

#### ② 基本目標全体の総括

##### 〔主要事業に関するもの〕

- ・ 高齢者等ホームサポート事業を始めとする在宅福祉サービスについては、広報誌やホームページを活用しながら事業の周知に取り組み、高齢者の心身の状況に応じた適切なサービス利用へとつなげることができた。
- ・ 認知症高齢者等への取組については、新たに認知症高齢者地域生活安心サポート事業や認知症事故救済事業の骨組みをつくり、認知症サポーターなどの意欲ある市民が活躍しやすい環境づくりに取り組んだほか、認知症サロンや物忘れ相談会など、認知症に不安を抱える本人・家族が相談できる、交流できる場の充実に取り組んだ。

### 基本目標4 「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

#### ② 基本目標全体の総括

##### 〔自立支援・重度化防止に資する事業に関するもの〕

基本目標4における「自立支援・重度化防止に資する事業」としては、「認知症の早期発見や相談支援の推進」などに関するものを計上しており、早期発見リーフレットや認知症ガイドブック（ケアパス）の配布など、認知症の早期発見や早期対応に向けた周知等は計画どおりに取り組むことができたが、初期集中支援チームについては、チーム員研修を開催するなど、事業の理解促進に取り組んできたものの、今期計画期間においては1件の設置に留まった。

### 基本目標4「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

#### ② 基本目標全体の総括

##### 〔高齢者居住安定確保計画に関するもの〕

サービス付き高齢者向け住宅やセーフティネット住宅など、高齢者が心身の状況や生活状況に応じて選択できる多様な住宅の整備に取り組み、概ね計画の目標値を達成できた。

### 基本目標4「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

#### ③ 評価を踏まえた課題

高齢者が心身の状況や生活の状況に応じて選択できる多様な住宅の整備に取り組んできたほか、認知症に不安を抱える本人・家族の不安の軽減や、住み慣れた地域で安心して過ごせる環境づくりなど、高齢者の状況に応じて自立した生活を支援する取組を進めてきた。

「いつまでも自分らしさを持ち自立した生活の実現」に向け、高齢者が安心して入居できる住まいの更なる確保や住環境の更なる向上に向けた支援に取り組む必要があるとともに、認知症があってもなくても安心して暮らし続けられるよう、地域で認知症の方を支える人材の養成・確保や地域のより身近な場所における相談体制の強化、権利擁護支援の充実など認知症高齢者等対策の更なる推進に取り組む必要がある。

### 3 計画全体の評価

#### ① 基本目標ごとの施策・事業の達成状況

基本目標 1, 基本目標 2, 基本目標 3 が「順調」, 基本目標 4 が「概ね順調」となっている。

|        | A          | B         | C         | A・Bの合計      | 評価   |
|--------|------------|-----------|-----------|-------------|------|
| 基本目標 1 | 15 (71.4%) | 6 (28.6%) | － (－)     | 21 (100.0%) | 順 調  |
| 基本目標 2 | 13 (76.5%) | 4 (23.5%) | － (－)     | 17 (100.0%) | 順 調  |
| 基本目標 3 | 27 (87.1%) | 4 (12.9%) | － (－)     | 31 (100.0%) | 順 調  |
| 基本目標 4 | 19 (70.4%) | 5 (18.5%) | 3 (11.1%) | 24 ( 88.9%) | 概ね順調 |

※ コロナの影響を受けた施策・事業は除く

## ② 成果目標の達成状況

「概ね順調」となっている。

| 項 目                                          | 当初   | 目標   | 結果               | 評価 |
|----------------------------------------------|------|------|------------------|----|
| ほぼ毎日外出している高齢者の割合（％）                          | 42.1 | 47.5 | 38.0<br>(80.0%)  | B  |
| 身近な相談先として地域包括支援センターを知っている高齢者の割合（％）           | 62.6 | 68.4 | 65.7<br>(96.1%)  | A  |
| 必要な介護サービスを利用しながら在宅生活を継続できている高齢者の割合（地域ケア率）（％） | 13.8 | 16.2 | 14.4<br>(88.9%)  | B  |
| 認知症の本人やその家族にとって暮らしやすいまちと感じている市民の割合（％）        | 11.1 | 14.3 | 30.7<br>(214.7%) | A  |